



株式会社ジーエヌアイグループ

2024年12月期通期 決算説明資料

患者の皆様に

新たな希望を

Agenda

1. 会社概要

2. 決算ハイライト

3. 2024年 トピックス

4. 今期業績予想（2025年12月期）

5. 2025年 トピックス

6. ジーエヌアイグループの価値

7. 補足資料

1. 会社概要

会社概要

■ 本社住所

〒103-0023
東京都中央区日本橋本町二丁目2番2号
日本橋本町Y Sビル3階

■ 設立

2001年11月

■ 資本金

13,277 百万円(2024年12月末現在)

■ 上場取引所

東証グロース市場
(2007年8月上場/証券コード: 2160)

■ 主な事業

グローバルな医薬品の研究開発、製造・流通、
生体材料事業

■ 代表取締役社長兼CEO

イン・ルオ Ph.D.

■ 従業員数（グループ全体）

867名(2024年12月末時点)

■ 主な拠点

日本・アメリカ・中国・オーストラリア



取締役・代表執行役社長 兼 CEO


イン・ルオ Ph.D. Ying Luo

中国系アメリカ人として、アンメット・メディカル・ニーズ（満たされていない医療ニーズ）に対する新しい治療薬の開発のために、日本、アメリカ、中国の製薬業界のユニークな強みを活用し、新しい収益性の高いビジネスモデルを開拓。

1991年 コネチカット大学保健センターから分子生物学/生物医学の博士号を取得。30年以上のキャリアの中で35件以上の研究結果や出版物の共著者であり、16件以上の特許における発明者でもある。

2024年 Forbesが選ぶ中国で最も影響力のある100人に選出。

ビジネスモデル

分野	製薬・創薬	創薬	メドテック(生体材料)
会社名	 Gyre Therapeutics, Inc. (GYRE)  北京コンチネント薬業有限公司 (BC)	 Cullgen Inc. (Cullgen)	 Berkeley Advanced Biomaterials LLC (BAB)  Berkeley Biologics LLC (BB)
トピック	<ul style="list-style-type: none"> ・ナスダック上場 ・抗線維化薬の開発 ・製薬（アيس-リュイ等）の製造販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・上場発表（2024年11月14日） ・がん等の創薬プラットフォーム ・アステラスと分野提携 ・アストラゼネカが出資 	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年M&Aを実施しBB設立
2023 売上高 営業利益	157.4 億円 39.9 億円	58.0 億円 26.9 億円	27.4 億円 13.3 億円
2024 売上高	158.5 億円	14.4 億円 ※23年Q2にアステラスからの一時金 47.2億円を受領→次のマイルストーン	51.7 億円
将来	<ul style="list-style-type: none"> ・F351臨床試験結果受領 ・ニンテダニブ及びアバトロンボパグマレイン酸塩錠の製造販売開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・上場 ・安定的収益約15億円 ・オーストラリアで疼痛を対象に臨床試験を実施 ・次のマイルストーン獲得 	<ul style="list-style-type: none"> ・上場準備 ・新CEO就任 （マーケティング部門出身）

主な創薬・製薬

<製薬>

アイスーリュイ（一般名：ピルフェニドン）



- ・中国語：艾思瑞、英語：ETUARY®
- ・特発性肺線維症（IPF）適応症とする治療薬 **中国で圧倒的シェア**
- ・適応症拡大へ向け臨床試験中（第3相3件）
- ・中国で患者向けNPOへの寄付を毎年実施

<創薬>

F351（一般名：ヒドロニドン）



- ・治療薬の存在しない肝線維症に対する期待の治療薬候補 **（第3相臨床試験 10月22日終了）**
- ・ブロックバスター候補薬
- ・2021年「**画期的治療薬**」に認定（中国国家薬品监督管理局より）
- ・中国ではB型肝炎及びMASH*、米国ではMASH*を適応症

標的タンパク質分解誘導剤



- ・独自の標的タンパク質分解誘導技術プラットフォームuSMITE(TM)を活用
- ・がん、痛み、自己免疫疾患等を適応症とする新薬創出を目指す
- ・アストラゼネカから出資及び取締役とアドバイザー受入
- ・アステラス製薬と大型契約を締結
- ・3件 第1相臨床試験実施中（2件 中国、1件 オーストラリア）

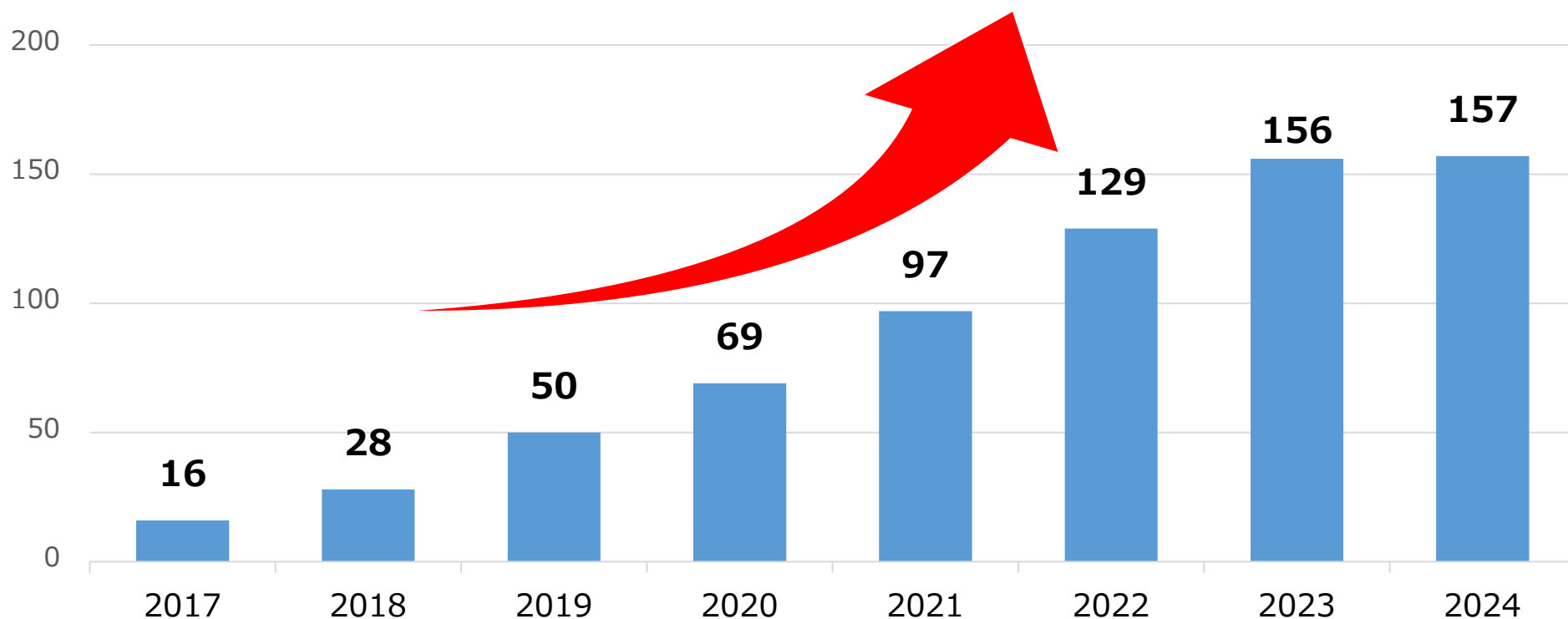
*代謝異常関連脂肪肝炎

ジーエヌアイグループとは①

創薬成功から製薬へ

(単位：億円)

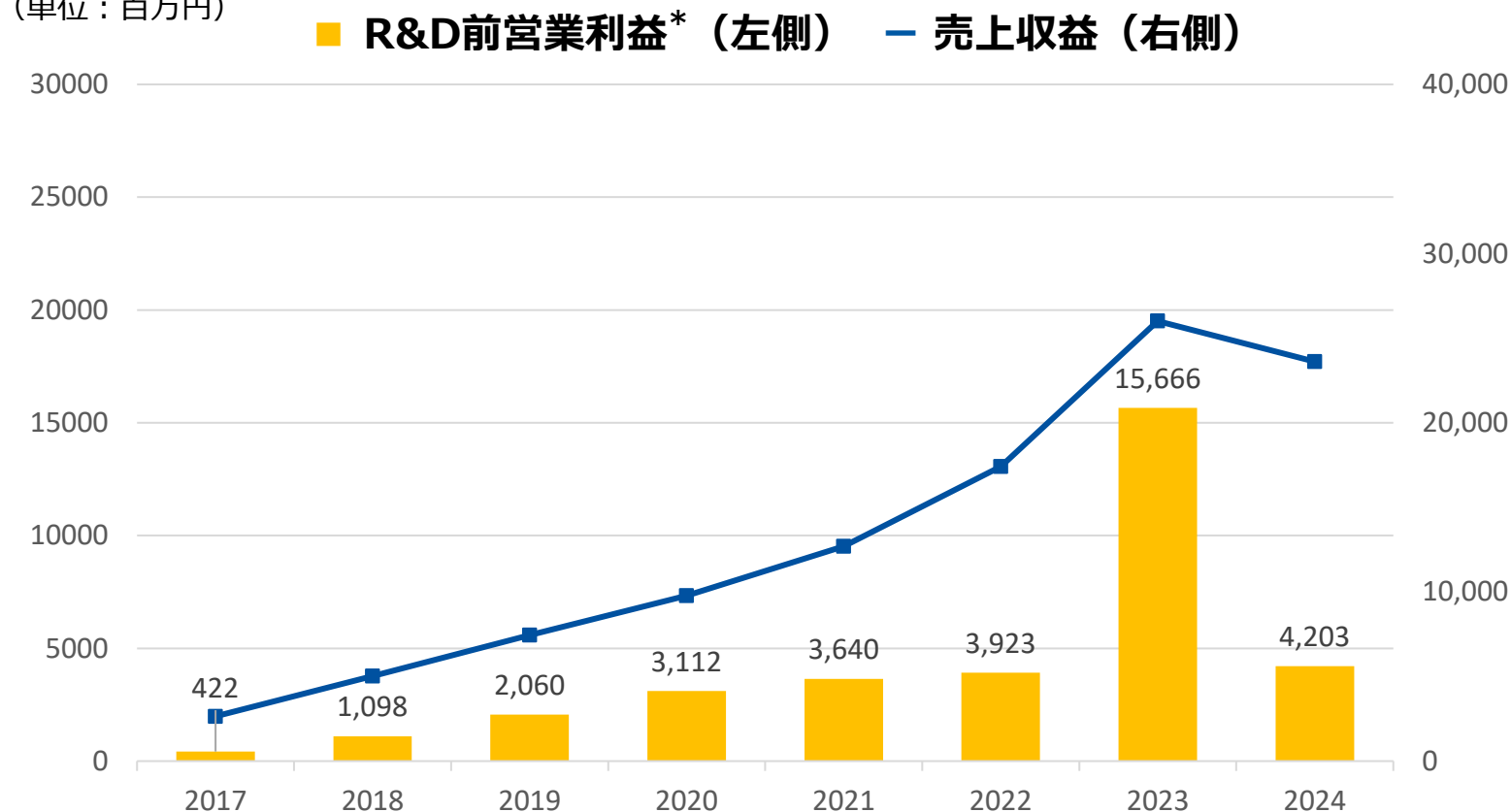
アイスーリュイ売上高



ジーエヌアイグループとは②

業界で希少な黒字企業

(単位：百万円)



* R&D前営業利益 = 営業利益 + 研究開発費

ジーエヌアイグループとは③

世界的に認められる高い開発能力

アイスーリュイの**開発成功**

F351の**第3相臨床試験終了**

アステラス製薬と**大型契約締結**

アストラゼネカから**出資・役員受入**

ジーエヌアイグループとは④

各グローバル子会社上場による 価値の顕在化を目指す

製薬・創薬



2023年 上場済

創薬



2024年 上場を発表

メドテック



上場準備



各社のバリュエーション顕在化

ジーエヌアイグループのバリュエーション

ジーエヌアイグループとはつまり

日本だけでなくアメリカ・中国を中心に、
グローバルに活動し

創薬に成功し製薬メーカーとして利益を上げながら
世界に認められる開発能力を発揮し

「患者の皆様になたな希望を」
のビジョンの基

更なる新薬開発に努め
無限に広がる成長可能性を実現していく企業グループ

ジーエヌアイグループとはつまり

高い成長性を保持しながら
(**グロース株**)

豊富な資産を有し割安株の側面も持つ
(**バリュー株**)

それが ジーエヌアイグループ

2. 決算ハイライト

2024年業績予想

期ずれによる業績の差異

(単位：百万円)	2024年通期 予想	2024年通期 実績	理由
売上収益	39,566	23,611	実現可能性が高いと見込んでいたM&A案件を見送り
売上総利益	34,624	18,037	
営業利益	16,286	1,402	Cullgen上場に伴う上場益の期ずれ費用は先出し (発表時の上場益想定は約14,764百万円)
税引前当期利益	15,552	238	
当期利益	12,287	△9	
親会社帰属当期利益	7,058	1,098	

連結損益計算書

昨年獲得した契約一時金49.2億円を除くベースでは、グループ全体として順調な成長

(単位：百万円)	2023 Q4 累計	2023 Q4 (一時的収益除く*)	2024 Q4 累計	対前年比	対前年比 (一時的収益除く*)
売上収益	26,010	21,087	23,611	△9.2%	+12.0%
売上総利益	22,431	17,507	18,037	△19.6%	+3.0%
販売費及び一般管理費	15,292		15,771	+3.1%	
研究開発費	2,557		2,811	+9.9%	
営業利益	13,108		1,402	△89.3%	
税引前当期利益	12,612		238	△98.1%	
当期利益	9,504		△9	△100.1%	
親会社帰属当期利益	8,094		1,098	△86.4%	

セグメント別

(単位：百万円)	製薬	創薬	メドテック	その他	連結修正
売上収益	15,847	1,439	5,169	1,176	△20
営業利益	4,003	△2,700	896	1,449	△2,246

*2023年に連結子会社Cullgenとアステラス製薬株式会社との提携に伴う契約一時金4,923百万円（35百万米ドル）

自社株価予約取引の結果

通期プラスで収益寄与

	2024年第4四半期	通期
その他収益（株式評価益） マッコーリー社との自社株価予約取引に係る株式評価益	+573百万円	+119百万円

連結貸借対照表

(単位：百万円)	2021末 実績	2022末 実績	2023末 実績	2024末 実績	対前年比
非流動資産合計	12,109	16,759	33,475	42,720	+21.6%
流動資産合計	18,187	17,147	30,793	29,222	△5.4%
資産合計	30,296	33,906	64,269	71,942	+10.7%
非流動負債合計	8,487	10,592	19,571	19,764	+1.0%
流動負債合計	2,543	3,503	8,193	12,464	+34.3%
負債合計	11,030	14,096	27,764	32,229	+13.9%
資本金等その他	17,108	17,125	20,434	19,887	△2.6%
利益剰余金	307	696	8,790	9,888	+11.1%
その他の資本の構成要素	1,444	3,147	4,569	6,669	+31.5%
親会社帰属持分	18,860	20,969	33,794	36,446	+7.3%
非支配持分	405	△1,158	2,710	3,267	+17.0%
資本合計	19,266	19,810	36,504	39,713	+8.1%

潤沢なキャッシュ

上場子会社GYRE株式はキャッシュ化可能な資産

2024年Q4 **1,602億円**

キャッシュ性資産	
現金及び現金同等物（有価証券含む）	143.1億円
定期預金	28.1億円
Gyre株式保有時価総額*	1,392.8億円
非流動資産	
長期性預金	38.3億円

*期末時点の株価及び為替レートをもとに当社で計算

研究開発費

着実な創薬の開発進捗

(単位：百万円)

	2021 通期 実績	2022 通期 実績	2023 通期 実績	2024 Q4 累計
連結研究開発費	2,015	2,545	2,557	2,811
資産化された開発コスト	336	606	940	1,165
合計	2,351	3,151	3,497	3,976*

*対前年比 14%増

3. 2024年トピックス

【グループ】2024年

注目イベントの進捗

イベント	進捗	詳細
1. F351 第3相臨床試験	臨床試験完了	トプラインデータ公開待ち
2. Cullgenの上場	発表済み	2025年に上場予定
3. 販売ラインナップの拡充	発表済み	2025年に新規2製品が売上寄与
4. M&A	未達成	新規ターゲット企業と交渉中
5. プライム市場移行への準備進捗	進行中	主幹事証券確定済み Cullgenの上場承認待ち（子会社再編）及び 社内体制構築

【製薬】2024年



販売ラインナップの拡充

品目	適応症	開発進捗
ニンテダニブ	<ul style="list-style-type: none"> ・特発性肺線維症（IPF） ・結合組織疾患（CTD-ILD）を伴う間質性肺疾患（全身性硬化症に伴う間質性肺疾患(SSc-ILD)） ・進行性線維性間質性肺疾患(PF-ILD) 	2024年5月 製造販売権獲得
アバロンボパグマレイン酸塩錠	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性肝疾患に伴う血小板減少症 ・慢性特発性血小板減少症（ITP） 	2024年6月 販売申請承認 2025年1月 適応拡大承認

今期の売上収益に寄与

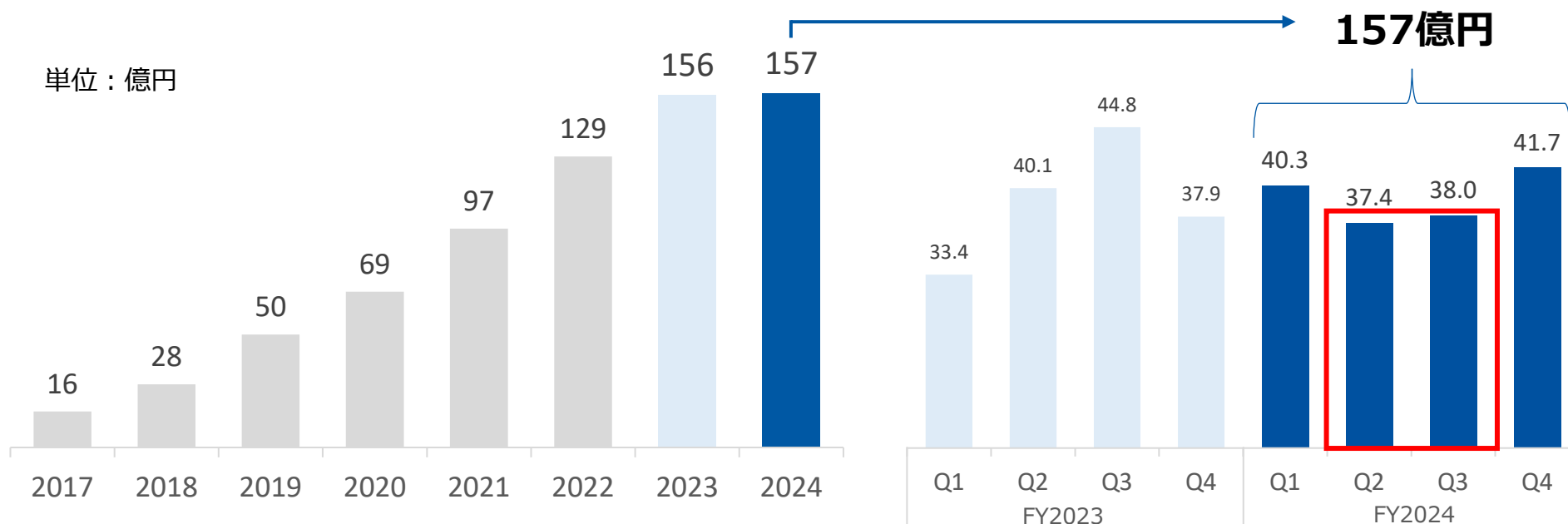
【製薬】2024年



主力製品の堅調な売上

アイスリュイの売上推移

四半期売上推移



反腐敗運動 →

マーケティング活動制限
(Q2~Q3)

→

Q4で回復

F351 第3相臨床試験終了

F351とは

- 中国で約1.5億人の肝線維症患者が存在する中、初の治療薬になる可能性
=ブロックバスター候補薬
- 「画期的治療薬」としてNMPAより指定
- 2025年 MASHでのグローバル展開視野

重要イベント	進捗（2024年12月末時点）
第3相臨床試験終了	2024年10月22日終了
トプラインデータ公表	分析結果の公開待ち
NDA（新薬承認申請）	トプラインデータ公表から2カ月～3カ月後に申請
NDA承認	NDAから6カ月～8カ月

新たなパイプライン 痛みをスタート

① IND申請承認 – 2024年10月

- CG009301 (GSPT1 タンパク質を標的とした分解薬)
 - 適応症：悪性血液腫瘍（白血病）
 - TRKに続く3事例目のIND申請承認

② 第1相臨床試験開始 – 2025年1月

- CG001419
 - 適応症：急性及び慢性疼痛（痛み）
 - オーストラリアでの臨床試験

【創薬】2024年 **cullgen**

Cullgen上場発表

米国ナスダック上場企業Pulmatrix社との
リバースマージャー

GYREに続く2社目の子会社上場

認知度及び信用度の向上

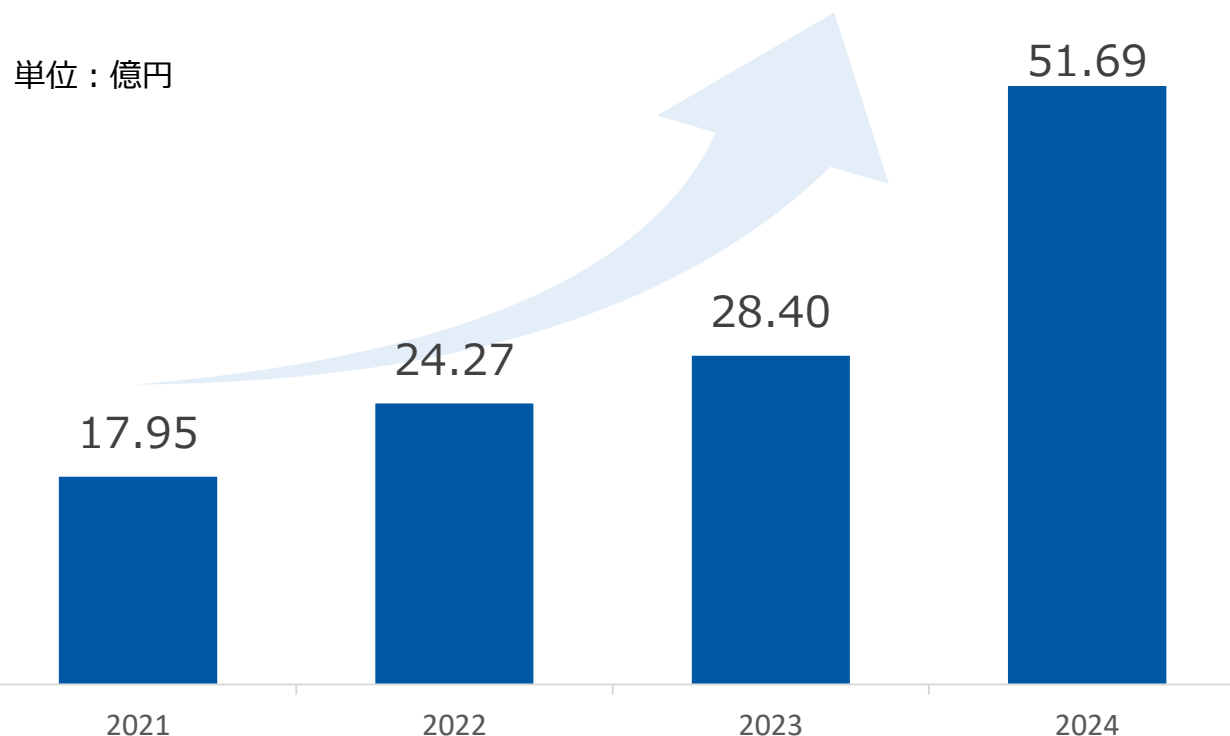
+

将来的な新薬開発の促進

【メドテック】2024年



目標売上50億円達成



M&A効果

JAICとの提携

JAIC株式18.7%保有

1. 中国を中心とした海外投資家の資金を
日本企業へ投資する架け橋に
2. 投資先企業の保有する製品を中国市場へ
展開支援
3. 国内M & Aの推進

*18.7%のうち、ASIAファンドの出資額に応じた保有分は17.95%
また当社の直接保有分は0.78%（1月末日時点）

JPX日経中小型株指数に選出

- 2024年8月30日組入れ開始
- 組入れ比率**1.86%→2.11%へ***
- 当社は流動時価総額が高く、組入れ比率は2位/200銘柄



今期以降目標 : JPX日経インデックス400選出

*2024年12月末時点での前期比

当社株式と指数のパフォーマンス比較（参考）

指数/ 株価	年間騰落率（2023-2024）
TOPIX指数	+ 17.9%
東証グロース指数	△8.6%
ジーエヌアイグループ（2160）	+ 20.3%

東証グロース指数

- 年間で過去最長の4年連続安
- 日本の金利上昇に伴うグロース売りが続く

ジーエヌアイグループ

- 継続的なIR活動
- **みずほ証券によるカバレッジ開始**
→グロース指数に連動しない値動きで株価は上昇

4. 今期業績予想(2025年12月期)

2025年度 業績予想

連結業績

Cullgenのマイルストーン収入及びM&A収益は含めず

(単位：百万円)	2024年通期 実績	2025年通期 予想	対前年比
売上収益	23,611	28,733	+21.7%
売上総利益	18,037	22,954	+27.3%
営業利益	1,402	23,217	+1556.0%
税引前当期利益	238	22,541	+9371.0%
当期利益	△9	15,868	-
親会社帰属当期利益	1,098	12,058	+1134.2%

セグメント別

(単位：百万円)	製薬	創薬	メドテック	その他	連結修正
売上収益	20,202	955	6,159	1,525	△108
営業利益	4,640	3,982	1,269	16,314	△1,703

*Gyre Therapeutics, Inc.の業績はその他に含まれております。
創薬セグメントは2025年第2四半期までの業績を反映しております。

5. 2025年 トピックス

将来的な収益基盤の強化

品目	適応症	開発進捗	今後のイベント
F573	急性肝不全(ALF)/ 慢性肝不全の急性増悪 (ACLF)	第2相臨床試験	2026年12月までに第2相臨床試験 完了
F528	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	前臨床	2025年12月にIND提出
F230	肺動脈性肺高血圧症(PAH)	第1相臨床試験 IND承認済み	2025年5月に第1相臨床試験 開始

*スケジュールは現時点での想定であり、変更が生じる場合があります。

【製薬】2025年



F351 第3相臨床試験の結果を受領

上市へのスケジュール

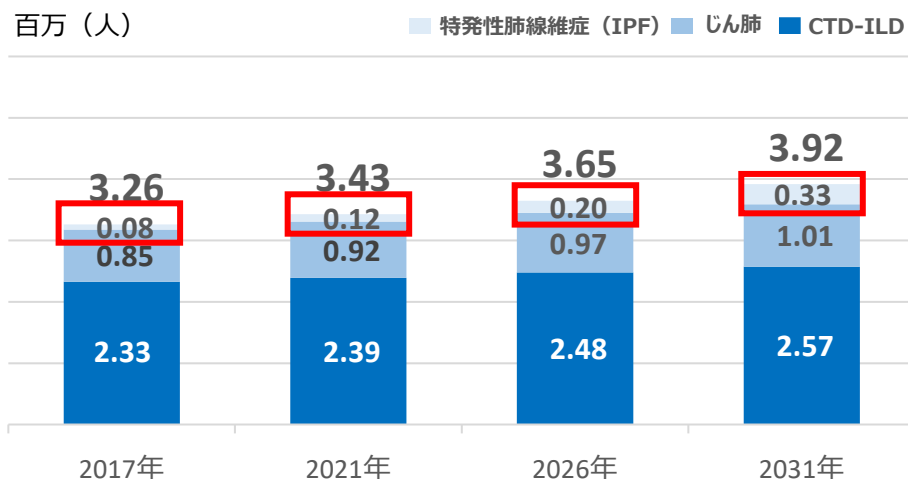
重要イベント	進捗（2024年12月末時点）
第3相臨床試験終了	2024年10月22日終了
トプラインデータ公表	分析結果の公開待ち
NDA（新薬承認申請）	トプラインデータ公表から2カ月～3カ月後に申請
NDA承認	NDAから6カ月～8カ月

【製薬】アイスーリュイとF351比較（参考）

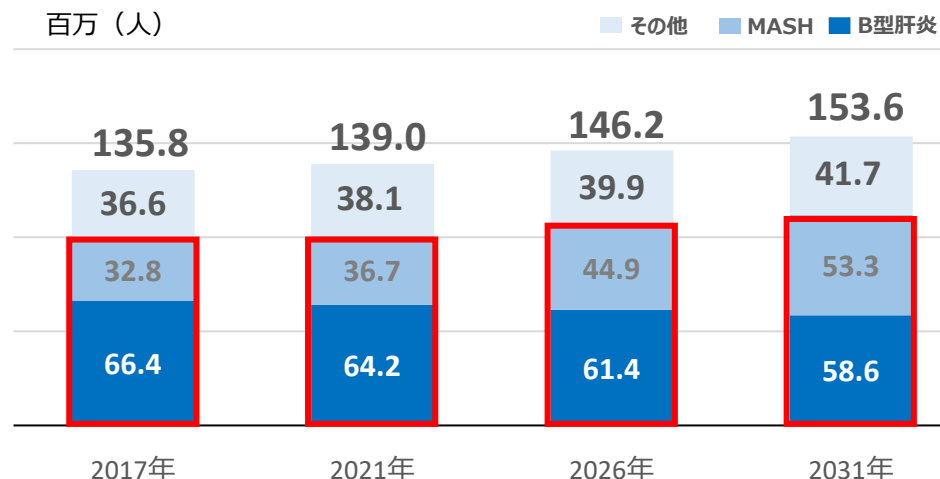


	アイスーリュイ	F351
患者数	約12万人（2021年）	約1億人（2021年） B型肝炎+MASH
一人あたりコスト（年間）	200万円（当社販売価格）	???
売上	157億円（2024年）	???

肺線維症患者数 推移（中国）



肝線維症患者数 推移（中国）



出典: Frost&Sullivan

【創薬】2025年 cullgen

将来的な新規ライセンス提携も模索

自社開発

ターゲット	適応症	ターゲット選定	ヒット化合物探索	リード最適化	PCC選定	INDの有効化	第1相臨床試験
TRK	固形がん						
TRK	急性痛、慢性痛						
GSPT1	がん (白血病、MYC)						
エピジェネティック因子	がん (前立腺、肺、膀胱)						

今後のイベント

2025年Q1に第1相臨床試験（容量拡大段階）に移行

2025年Q3に第1相臨床試験を終了

2025年Q1に第1相臨床試験を開始

非酵素ターゲット

臨床試験開始

Cullgen E3 リガンド活用

分解抗体複合体（DAC）

共同開発

細胞周期	がん (乳がん、多発性固形がん)						
DNA修復	がん (結腸、卵巣、胃腸)						

*スケジュールは現時点での想定であり、変更が生じる場合があります。

Cullgen上場

CSRC（中国証券監督管理委員会）の承認待ち
※GYRE上場時はCSRC申請受理から1週間後に上場

承認後、速やかに上場へ



上場益想定（営業利益）

発表時（2024年11月13日）	：約148億円
現時点（2025年2月4日）	：約420億円

*その他収益から弁護士費用等を控除した金額が営業利益に計上される見込みです。
Cullgenの上場日が収益発生日となるため、株式公開時の初値や為替レートによって実際の収益は変動いたします。

【メドテック】 2025年



メドテック事業の更なる拡大

1. 新製品発売による販売ラインナップの拡充
2. 中国での新規販売



売上規模100億円へ

国内事業確立へ

M&Aによる事業成長加速



キャッシュフローの獲得

グループ会社に依存しない経営基盤の確立

6. ジーエヌアイグループの価値

当社グループの強み

安定した収益基盤

確実な売上につながる販売商品・販売体制

+

将来の成長を支える開発力

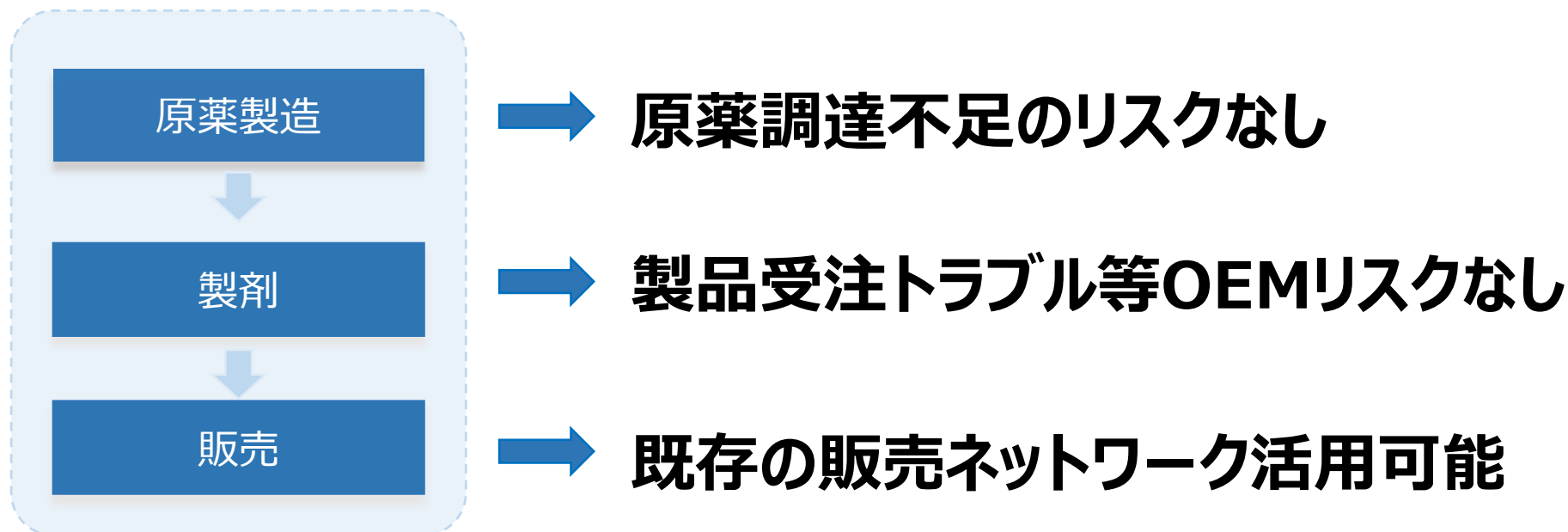
将来利益につながる研究開発技術・体制



高収益・高成長なグローバル中堅製薬企業へ

収益性の高い垂直統合モデル

- 原薬から販売まで自社グループで行い、独自モデルを構築
- 過去5年間の平均粗利率は95.3%



世界的な薬不足の中、安定的な製造・販売が可能

ジーエヌアイグループの価値



時価総額 **1,678億円**

≠ バリュエーションギャップの解消

製薬・創薬



2023年 Nasdaq上場

創薬



2024年 Nasdaq上場を発表

メドテック



上場準備

保有時価 **1,324億円**

簿価 130億円

*同業MADRIGAL社
時価総額 11,853億円

時価 **近々顕在化**

簿価 73億円

*同業ARVINAS社
時価総額 1,878億円

時価 **???**

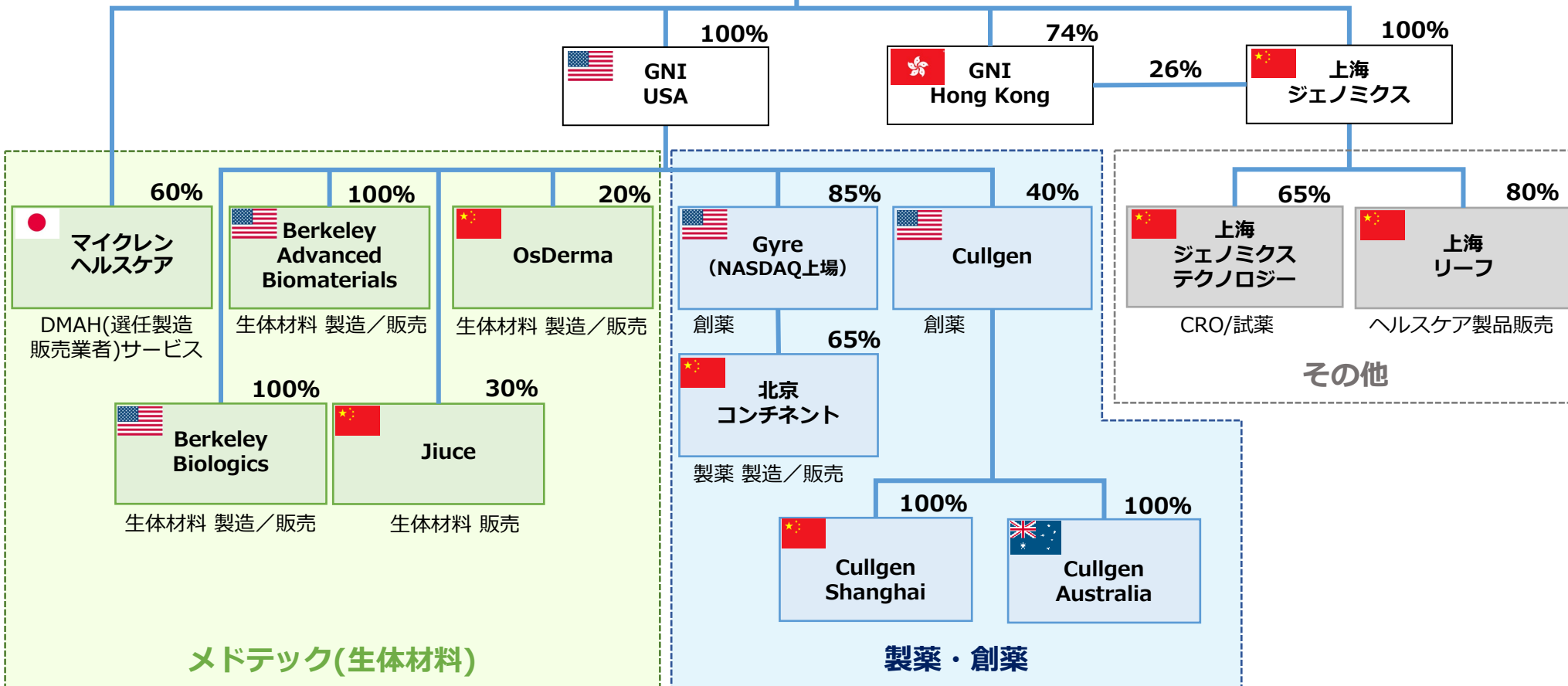
簿価 85億円

*2024年 売上52億円 営業利益9.0億円
2023年 売上27億円 営業利益13.3億円

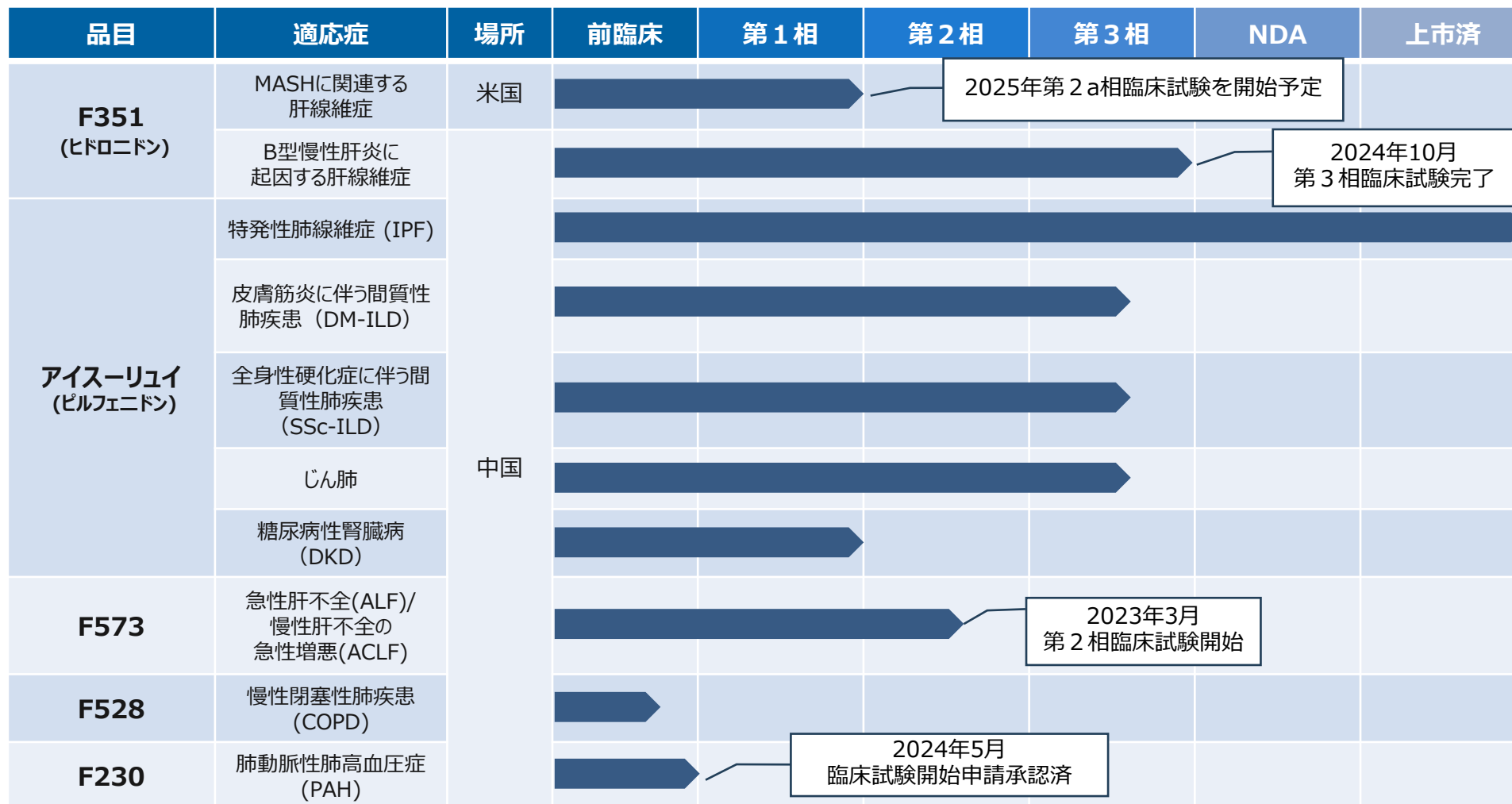
※ 2025年2月13日終値ベース

7. 補足資料

グループ体制









Gyre/BCの開発パイプライン





Cullgenの開発パイプライン

自社開発

ターゲット	適応症	ターゲット選定	ヒット化合物探索	リード最適化	PCC選定	INDの有効化	第1相臨床試験
TRK	固形がん						
TRK	急性痛、慢性痛						
GSPT1	がん (白血病、MYC)	 					
エピジェネティック因子	がん (前立腺、肺、膀胱)						



 非酵素ターゲット

 臨床試験開始

 Cullgen E3 リガンド活用

 分解抗体複合体 (DAC)

共同開発

細胞周期	がん (乳がん、多発性固形がん)	 					
DNA修復	がん (結腸、卵巣、胃腸)						

同業他社の時価総額推移からGYREの将来は？（参考）

同業A社

日付	株価	円換算*
2022年12月18日 (第3相臨床試験で 良好な結果を発表)	63.8 USD	約2,000億円
2022年12月19日	234.8 USD	約7,650億円
その後 高値	368.29 USD	約1.2兆円

約3.8倍

同業B社

日付	株価	円換算*
2025年1月24日	26.2 USD	約3,000億円
2025年1月27日 (第2b相臨床試験で 良好な結果を発表)	51.7 USD	約6,000億円
その後 高値	58.40 USD	約6,670億円

約2倍



2025年2月13日の時価総額
約1,556億円



F351が成功したら
???億円

* 1 USD=150円で仮定

お問い合わせ先: 株式会社ジーエヌアイグループ インベスターリレーションズ



: IR@gnipharma.com



: www.gnipharma.com

本資料に記載されている、意見や予測、今後の見通し等は、当社グループが、資料作成時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受け、大きく変動することも考えられます。従いまして、実際の業績及び戦略等につきましては、この配布資料に記載されている内容とは、大きく異なる可能性がございますことを、予めご承知おき下さい。また、事前の承諾なしに本資料に掲載されている内容の複製・転用等を行うことを禁止します。

